

一般質問

(紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

安全で活力ある 村づくりをめざして 村政を問う

質問内容

- ・規制緩和は村民憲章、理念に近づくか
- ・スキー観光の暖冬対策は
- ・村営バス事業を実施しない理由は
- ・子育て世代包括支援センターの予定は

- ・寮の来年度新入生の受け入れは
- ・公共施設の運営と維持管理の計画は
- ・地域農業の将来的方向性は
- ・大雪渓の新ルートについては
- ・設計変更における留意事項の定めは

フォトニュース



「まさか」の雪不足
少ない雪でも来村してくれた
スキーヤー
(佐野坂スキー場)

2年続きの雪不足

キャンセルは 9,093 人、概算損失額 1 億 1900 万円

回収率約 10%、宿泊関係 51 事業所からの回答結果 (対象期間は 12 月 1 日～1 月 9 日)

一変して豪雪に

2016 - 17 スキーシーズンは、昨年と同じく年末年始は雪不足となり、村では 1 月 4 日付けで 2 年連続の「白馬村寡雪対策本部」を設置。対策本部では、早急に影響情報の集約に努め、支援策等は情報等の整理を進めるなかで、有効な支援対策を検討していきたいとのこと。

観光課によるスキー場の入込状況は、12 月のシーズンインから本年 1 月 5 日までで 185,188 人、対前年比 82.8%、38,362 人の減少。対前々年比では 82.2%、40,188 人の減少。対前々々年比では 67.5%、88,969 人の減少という状況だ。

村と商工会では、宿泊・索道・飲食・除雪事業者を対象

とした影響調査を実施し、現在集計分析中。宿泊関係では 51 事業所 (回収率約 10%) より回答があり、12 月 1 日から本年 1 月 9 日までのキャンセルは、9,093 人・概算損失額 119,264,978 円。

1 月 12 日からの大寒波は全国に雪をもたらし、本村でも 4 日間にのぼる降雪で豪雪となる。この寒波で全国のスキー場が滑走可能となり、昨年と異なる視点での取り組みと、2 年続きの年末年始の雪不足が来季に及ぼす悪影響を払拭していく取組みが必要とされる。